

## 西宮市医師会看護専門学校 2019 年度 自己評価および学校関係者評価結果

### ○自己評価および学校関係者評価の経緯と概要

2003年に看護師等養成所の教育活動に関する自己評価指針が示され、本校においても教育の質向上に向け、2004年度より自己点検・自己評価委員会を立ち上げ、厚生労働省の自己評価指針<sup>1)</sup>をもとに自己点検・自己評価への取り組みをはじめました。

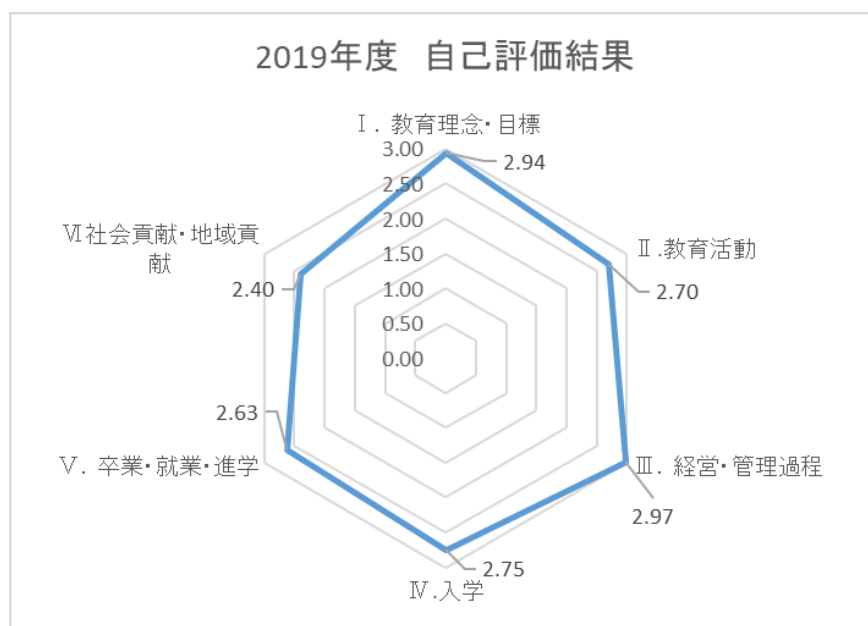
指針をもとに約10年自己評価活動に取り組んできた結果、授業運営にかかわる教育課程経営や教授学習評価過程に関する評価は、ほぼすべての項目が高い評価となっています。しかし、国際交流、研究に関して評価点は低いままで経過していました。そこで、本校の厚生労働省の自己評価指針をそのまま使用することが本校の教育理念に合致しているのかを含め、本校の自己点検・自己評価のありかたについて改めて見直し、自己点検・自己評価委員会において本校の教育理念を基本に、厚生労働省の自己評価指針<sup>1)</sup>、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」<sup>2)</sup>も参考にしながら、本校の自己点検・自己評価指針を作成しました。

本校は西宮市医師会定款に示す医療技術者の養成に関する事業を受けて運営されており、地域に密着した看護サービスが提供できる看護の実践者を育成することにあると教育理念にあげおり、教員の研究活動より学生の教育活動に重点がおかれるのは当然であると考え、これまで、一つのカテゴリーとして取り扱っていたカテゴリーⅨ「研究」については、教育活動の充実に関する下位項目にとらえ、評価カテゴリーを整理しました。その結果、2015年度より評価指針を6カテゴリーに整理し、カテゴリーごとに下位項目、評価内容を作成し、評価しています。令和元年度には自己点検・自己評価委員会を自己評価委員会と改称し、あらたに学校関係者評価委員会も立ち上げ評価を行いましたので、2019年度自己評価結果及び学校関係者評価について報告します。

1) 厚生労働省 「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書 <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/07/s0725-5.html> 2020年3月アクセス可能

2) 文部科学省 「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づく学校評価マニュアル [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/senshuu/1332632.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1332632.html) 2020年3月アクセス可能

## 2019年度 自己評価結果



カテゴリーごとの下位評価項目を、当てはまる:3, やや当てはまる:2, 当てはまらない:1として評価した平均を示している。

I 教育理念・教育目標	医師会立として地域保健医療の向上を図るために看護サービスの実践者を育成するとうたっており、本校の特徴を示している。教育の到達目標は卒業時の行動特性として示している。また、卒業時アンケートにより、目標設定の妥当性が確認された。
II 教育活動	教育課程編成の考え方、構成等についての文書に基づいて教育課程を編成し、教育内容を配分している。「履修の手引き」「学生便覧」を作成、配布しており、単位認定の考え方、方法を明示している。現行カリキュラム評価のためアンケート調査を実施したが結果分析や教職員間での共有には課題が残る。授業評価アンケート結果により、授業内容の改善に努めている。教員の研修について計画的に実施しているが、授業準備時間の確保や研究活動への支援については課題がある。
III 経営・管理過程	意思決定システムとして職員会議・教員会議・学校運営会議・医師会の会議が明示されており、日常のミーティングと諸会議で全職員の意思決定ができています。「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）」「高等教育段階の修学支援制度」の対象校となっている。また、奨学金給付金についても円滑に業務が行われている。冷暖房設備入れ替え、業務用放送設備の改修工事、学籍管理システム導入、高機能シミュレータ導入など計画的に予算立案し、整備している。
IV 入学	入学選抜の考え方、入学試験実施については、学則・規程に基づいて実施している。在籍学生の動向についても把握し、入学試験委員会で入試内容や選抜方法の検討を行っている。また、業者主催の進学相談会へも積極的に参加している。
V 卒業・就業・進学	進路指導を実施し、おおむね適切な進路選択ができています。市内を含め県内の就業率もよく、教育理念との整合性があるが、卒業後の活動状況についてアンケート調査を実施し、卒業後も看護職として働いていることが確認できた。
VI 社会貢献・地域貢献	現在、地域社会と交流する委員会は学校主催では実施しておらず、本校発信での公開講座などは活動していない。しかし、実習病院を中心とした近隣病院の防災訓練や西宮市防災訓練に参加している。また、近隣施設へのボランティア活動も実施しており、地域連携の機会は増えてきている。兵庫県内高校、進学ガイダンスには、積極的に参加し、進路相談の実施を行い、市内高校の体験授業も受けいれている。

## 学校関係者評価

西宮市医師会看護専門学校は、令和2年3月12日・18日に「2019年度自己評価結果報告書」をもとに、学校関係者評価を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

令和2年3月18日

西宮市医師会看護専門学校

### 学校関係者評価委員

- 1) 臨地実習施設関係者 恩田 朋子
- 2) 元教職員 辰巳 光子
- 3) 卒業生 前 佳美
- 4) 講師 嵩原 英喜

### 評価カテゴリーごとの学校関係者評価・意見

I 教育理念・教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標の到達状況は、期待される看護師像（卒業時の行動特性）に沿った卒業時アンケートにより確認できている</li> </ul>
II 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業および臨地実習は、非常勤講師・実習施設と連携を図りながら計画から評価まで適切に実践できている。ただし、職員全体の評価結果の共有は不十分な面があるため、課題として取り組んでほしい</li> <li>・授業評価については、授業方法と評価項目、科目評価と全体評価（相対評価）、科目担当講師の学生への効果的なフィードバックなどが課題である</li> <li>・教員の自己研鑽および研究活動のシステムは整っており、成長につながっている。教育活動を支える授業準備時間の確保や研究的な取り組みについては、教職員間で検討を続けてほしい</li> <li>・目標達成の評価は、学生・卒業生のアンケート調査を行い、根拠を明確にして取り組んでいる</li> </ul>
III 経営・管理過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の意思決定は会議を中心に企画運営できている</li> <li>・教育計画および評価は学生・保護者に対して、学生便覧・履修の手引き・実習要項等で提示できている</li> <li>・計画的な施設設備・教育機器の整備により、教育環境が整っている</li> <li>・学生の心身両面の支援は危機管理を含めて適切に実施できている</li> <li>・学生の経済的な支援について、様々な支援制度の提供に向けて積極的に対応している</li> <li>・財政基盤は安定し、適正な運営ができている</li> <li>・法令の遵守されている</li> </ul>
IV 入学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学試験・在籍学生のデータ分析、進学相談会の積極的な参加など入学生の確保に取り組んでいる</li> </ul>
V 卒業・就業・進学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業時の到達状況、就業状況のデータ分析は実施できている</li> <li>・卒業後の状況について、就職施設へのアンケート調査を実施し、積極的に取り組んでいる</li> </ul>
VI 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西宮市・実習施設・近隣施設への学生の協力やボランティア活動はできている</li> <li>・地域のニーズを把握した上での地域貢献は、今後の課題として取り組んでほしい</li> </ul>